

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ①

応募型事業 募集テーマ	「広げよう！広報くさつの輪」事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	総合政策部 広報課 広報グループ (TEL 077-561-2327)
テーマ内容	
<p>市政情報を市民の皆さんにお知らせする主要な媒体である「広報くさつ」をはじめ、市ホームページや Facebook、動画共有サービス YouTube の「くさつチャンネル」など、市の広報媒体に関心を高めていただき、愛着を強めてもらえるような取り組みを展開することで、常に市の動きを身近に感じていただき、市政参画意識の高揚を図ります。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>市政情報の発信において、「声の広報」の朗読など、一部で市民の方やボランティア団体に参画いただいている部分もありますが、一般的に広報は市からの一方的な情報発信になりがちであり、受信する側の顔が見えにくい行政サービスです。そこで、これまでになかったユニークな企画や取り組みで、「広報くさつ」等をもっと好きになっていただき、市民の皆さんとの双方向のコミュニケーションの中で、新しい広報のあり方を模索したいと考えます。</p>	
協働への期待	
<p>市の広報媒体への関心が高まるユニークな仕掛けや工夫、また、その取り組み自体が話題になりそうな、マスコミに取り上げてもらえる新しい提案を期待します。</p>	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<p>市民参加型の写真投稿専用 Facebook「写すんですくさつ」開設 (投稿された写真を「広報くさつ」1月15日号のカラー表紙に採用)</p>	
想定する事業規模・経費	
<p>予算額 上限 20 万円 (事業の企画、立案、運営に要する経費)</p>	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ②

応募型事業 募集テーマ	マイナンバーカード普及啓発事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	まちづくり協働部 市民課 戸籍住基グループ (TEL077-561-2344)
テーマ内容	
諸証明のコンビニ交付サービスの開始に伴う、個人番号（マイナンバー）カードの取得増加に向けた周知・啓発を市民目線から行っていただきます。	
テーマ設定の背景と課題	
諸証明のコンビニ交付サービスを実施するに当たり、サービスを利用するには個人番号（マイナンバー）カードの取得が不可欠となります。個人番号（マイナンバー）カードの取得増加に向けた周知・啓発を市民目線から行っていただきます。	
協働への期待	
行政の手法とは違った市民感覚溢れる周知方法の提案を期待します。	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
想定する事業規模・経費	
30万円	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ③

応募型事業 募集テーマ	外国人観光客（宿泊客）への観光ガイド発信事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	環境経済部 商工観光労政課 商業観光グループ (TEL 077-561-2351)
テーマ内容	
<p>市内に在住在学在勤の外国人の方々から滋賀県・草津市を見た目線で、生活、文化、地形、風土等に関する奥深さや感心度の高い情報を取りまとめた情報ペーパー（A3 チラシ、ハガキサイズ等）やデータ（映像、音声等）等を活用し、宿泊ホテルや観光案内所、旅行エージェント等への情報発信、ツールとして活用し、これまで脆弱であった外国からの来訪客に対して観光事業等の底上げに寄与していきます。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の滋賀県への外国人観光客宿泊客数の対前年伸び率は全国 1 位 ・草津市への宿泊客は、市内ホテルからのデータでは、対前年 20%強 ・本市の外国人観光客に対する対応は、先進自治体と比べると脆弱であり、観光客（宿泊客）に対して、読み物ガイドすら用意出来ていない。 ・簡易な案内から（紙面、HP 等）外国人観光客への案内機能を高める必要あり。 	
協働への期待	
<p>市内在住外国人や長期外国滞在者の方々や関係団体からの意見等を参考に住み慣れた日本人では気づかない地域風土の目線で地域情報を発信する手段は、これまでにない手法等であり、多くの外国人観光客への滋賀県・草津の楽しみのツールとなる事が十分期待できます。</p>	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・草津駅での観光案内所によるボランティアガイドの案内 (但し、ほとんどが片言の外国語での対応で満足な案内は出来ていない) 	
想定する事業規模・経費	
<p>(骨子)</p> <p>「日本に住む外国人から見た滋賀県・草津な視点」 ⇒意見聴取、とりまとめ、作成等を気を併せた方々に賛同協力いただき 成果物として作成していただく一切の費用 誌面印刷費用含む 20万</p>	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ④

応募型事業 募集テーマ	伝統工芸技術「青花紙」の保存伝承事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	環境経済部 農林水産課 特産振興G (TEL 077-561-2347)
テーマ内容	
<p>かつては、加賀友禅の下絵の材料として多くの方が青花を栽培し、江戸時代から青花紙をつくっていましたが、現在では、職人が減少し、青花紙が消滅することも危惧しています。草津にしかない伝統工芸技術を学び、後世に文化を継承することを目指します。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>友禅染の下絵の材料として江戸時代からつくられている青花紙は、全国でも草津にしかない希少価値が極めて高い伝統工芸技術であります。</p> <p>しかし、着物産業の低迷、友禅染の需要の減少、また化学染料の普及など時代の流れとともに伝統工芸製品「青花紙」は衰退の一途を辿っています。最盛期であった昭和初期には500軒以上あった青花紙農家も激減し、現在ではあおばな会に加入している青花紙農家の職人は2名のみとなっております。職人の高齢化にともない、このままでは長く続いてきた歴史ある伝統工芸技術は消滅することになります。現在でも友禅染職人の中には、化学染料ではなく青花紙の質の良さから青花紙を使い続けている職人もいて、僅かながら需要はあります。全国でも草津でしか生産されない「青花紙」の危機を救うべく、後世に伝統工芸技術を保存伝承する必要があります。</p>	
協働への期待	
<p>湖南農業高校では、あおばなの栽培技術の伝承の取り組みを始めており、あおばな染めをする会「あおばなを染める会」も発足しています。湖南農業高校生の若い柔軟な発想を活かし、青花の栽培、青花紙の製法に関する伝統工芸技術を継承していく方策や仕組みづくりを提案していただき、提案者と共に取り組んでいくことにより、伝統の継承が図れ、市民の財産としての定着が図れることを期待します。さらに、この事業を通じて、青花の普及啓発事業の新たな展開を期待します。</p>	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<p>あおばなの特産品化を目指し、普及啓発に努めている草津あおばな会（平成15年度発足）への支援を行っています。草津あおばな会では、これまであおばなフェスタの開催や青花紙職人の公募、各種イベントへのあおばな製品出店などの啓発事業を実施しています</p>	
想定する事業規模・経費	
<p>現存の生産者から、青花栽培、青花紙の製法に関する技術を学び、それを継承する仕組みづくりや指導者の育成を図り、市民レベルでの実践活動を通じて伝統工芸技術の継承を図っていくことを目的とした事業の企画・立案・募集等を行う。 (予算額 20万円 青花紙の材料費、講師謝礼等)</p>	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ⑤

募集テーマ	親子で自転車教室プロジェクト
担当課（部局・課・グループ・TEL）	都市計画部 交通政策課 交通グループ (TEL 077-561-2343)
テーマ内容	
<p>NPO と連携して、親子による自転車教室や啓発冊子の作成等の事業を実施し、自転車利用者の安全意識を高め、自転車の安全で安心な利用の促進を市民ぐるみで推進していきます。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>本市における自転車は、通勤、通学、買い物など様々な用途に利用され、市民の生活に無くてはならないものとなっています。</p> <p>しかしながら、交通事故総数に占める自転車事故の割合など、自転車の利用環境は良好な状態とは言いがたい状況です。</p> <p>その課題解決に向けて、平成26年7月1日に草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例を制定しています。</p>	
協働への期待	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく安全に自転車に乗れる指導カリキュラムなどをNPOとともに考える ・NPOが、子どもが安全に自転車に乗れるように指導するとともに、その指導方法を保護者に伝えることにより、自転車に関わる教育を充実させる。 ・自転車教室の実施状況を踏まえて、NPOと協働で啓発冊子を作成する。 	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車条例施行記念イベントでのウィーラーズスクール教室 (子ども向け自転車教室) 平成26年12月7日開催 	
想定する事業規模・経費	
<p>予算額 上限50万円 (教室開催の費用や、啓発冊子作りに必要な調査・情報収集、広報・周知などの企画・立案・運営に要する経費)</p>	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ⑥

応募型事業 募集テーマ	みんなの川サポート協働事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	建設部 河川課 河川グループ (TEL 077-561-2397)
テーマ内容	
<p>市内で活動されている地域住民によるボランティア組織、NPO法人、企業等を募集し、行政と連携して、河川に対する環境意識（スクリーンに溜まったゴミの清掃など）、美化意識（草花の植栽など）を高める活動をすることで、河川愛護の意識向上を高めることを目的とします。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>市が管理する普通河川、準用河川はこれまで町内会で維持管理をお願いしてきました。水路の浚渫や草刈が主であり、年に1，2回の町内会行事として取り組まれていることから、日々の河川の景観を考えた美化活動としては、あまりできていない状況であり、職員のパトロールや清掃委託業務では、迅速な状況把握等が困難な状況であります。</p> <p>このようなことから、市が管理する河川の美化活動や日々のパトロール活動を、地域住民によるボランティア組織、NPO法人、企業等と市職員が協働で進めていく事業が必要であると考えます。</p> <p>現在草津学区を主に1団体に活動していただいておりますが、当初目標では10団体を目標としていたことから、他の地区へも拡大し、市域全体で河川愛護意識の向上を図ること大切であると考えます。</p>	
協働への期待	
<p>今まで委託業務という中で行っている事業の一部を各団体との協働（参加型の事業）で、河川の美化活動（草花の植栽、ゴミ拾い等）とパトロール活動（水位とスクリーンの点検等）及び啓発活動（団体名を示したサインボードの設置等）を行うことで、地域と一体となった環境意識の向上に期待します。</p>	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<p>市内河川スクリーン清掃委託 河川愛護活動 河川清掃作業に伴う浚渫土運搬業務支援</p>	
想定する事業規模・経費	
<p>予算額 1団体上限20万円（美化活動、パトロール、啓発活動に伴う経費）</p>	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ⑦

応募型事業 募集テーマ	ガーデニング推進事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	建設部 公園緑地課 管理・ロータス研究グループ (TEL 077-561-2393)
テーマ内容	
<p>草津市では「ガーデンシティ草津」の実現を目指しており、住環境の向上、美化を目的として、公共的な場所にガーデン等を制作し維持管理を行っている団体を募集しています。対象団体に対し、ガーデニング手法による整備事例等の紹介、活動支援のほか、ガーデニングサークルへの加入案内等を行います。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>植物には、大気浄化効果や都市環境の保全効果のほか、人間の心を安らげるなど身体的、精神的な効果があります。本市においては、近年の著しい都市化に伴い、特に市街地の緑が減少する傾向にあるが、折からのブームと相まって、ガーデニングに興味のある人が増えています。</p> <p>平成24年度からガーデニング推進事業としてガーデニングに関心のある市民を対象に講座や視察を通してスキルの向上を図り、モデルガーデンの制作を行うなど、公共的空間のガーデニングに取り組む市民の組織化を目指しています。</p>	
協働への期待	
<ul style="list-style-type: none"> 市民の方々に公共ガーデンの制作、継続した維持管理を行っていただくことで、ガーデニング活動を行う人同士や、活動を行う人とガーデンを訪問する人との、緑を通じた交流が期待できます。 集合住宅居住者など個人の庭を持たない人でも、植物や土に触れる機会が得られ、緑のまちづくりの推進が期待できます。 	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<ul style="list-style-type: none"> 草津川緑地維持管理事業（H18～） 桜のオーナー制による植樹とNPOによる維持管理を実施 花とみどりのサポーター事業（H22～） 市民ボランティアによる湖岸緑地におけるコスモスの種まき、水仙の球根植え付け 緑のまちづくり交流会（H23・H24・H25） 市民活動団体間の情報交換のため交流 ガーデニング講座開催（H24～） 草津駅前デッキでのモデルガーデン制作（H24） 南草津駅前東山道記念公園でのモデルガーデン制作（H25） 草津市まちづくり提案事業（H25） 出屋敷団地あゆみの会 「旧草津川堤防美化運動および、未来に向けた、花と緑のまちづくり」 	
想定する事業規模・経費	
公共ガーデンの制作・維持管理費 1団体上限10万円	

草津市市民まちづくり提案事業【応募型】テーマ⑧

応募型事業 募集テーマ	子供向け水道水の飲用促進啓発事業
担当課（部局・課・ グループ・TEL）	上下水道部 上下水道総務課 総務経営グループ (Tel 077-561-6871)
テーマ内容	
<p>水道水の飲用促進啓発は、「きき水大会」を中心に世代を問わず啓発活動を行っておりますが、平成26年度の市制60周年イベントのコンセプトの一つである「将来を見据え、子供たちの未来に向けたまちづくり」に沿って、今年度新たに「子ども向け水道のしおり」を作成し、浄水場見学の際の資料として活用を始めるなど、子ども向けの取り組みの充実を図っております。</p> <p>平成27年度も引き続き子どもを対象とした啓発事業を継続することで、子どもの頃から水道水の大切さや安全性、おいしさ等について考える機会を設け、水道水の需要拡大を図ります。</p>	
テーマ設定の背景と課題	
<p>水道水は、水道法に基づく水質基準を満たすため51項目に及ぶ検査項目をクリアしており、本市では、北山田浄水場における再生洗浄砂による緩速ろ過やロクハ浄水場の活性炭処理施設の運用など、安全でおいしい水を送り届けるための努力や工夫を行っていますが、必ずしも市民に理解されているとは言い難いのが現状です。近年、市販のミネラルウォーターやお茶を購入することが当たり前となっている背景には、「水道水はまずい、臭い」などの固定観念がまだまだ根強く残っているものと懸念されるところです。</p> <p>このような固定概念を払拭するため、宿場まつり等のイベントに「きき水大会」のブースを出展するなど、水道水の安全性とおいしさを啓発しています。</p>	
協働への期待	
<p>市民公益活動団体のノウハウを活かし、例えば、学校教育に取り組んでいる浄水場見学ツアーの内容提案など、より充実した子ども向けの啓発事業の提案を期待します。</p>	
市がこれまで実施した関連事業・取組	
<p>◆水道水の飲用促進啓発事業（平成25年度まちづくり協働事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発チラシの作成、配布 ・啓発ソング「いってきくんの歌」の作成 <p>◆きき水大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津宿場まつり ・ロクハ公園緑化フェア <p>◆浄水場見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年5～7月に、小学4年生を対象に実施 <p>◆環境学習イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くさつエコミュージアム推進事業の一環として、ミニ浄水実験等を実施 <p>◆水のポスターコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度から毎年、市内小学生を対象に実施 	
想定する事業規模・経費	
<p>予算額 上限30万円（平成25年度実施のまちづくり提案事業予算額）</p> <p>事業に関する企画・立案・運営及び市内全域への広報・周知、必要となる消耗品類などに要する一切の経費</p>	